

2025 年 12 月 9 日

BMW グループ監査役会が後任を指名: ミラン・ネデリコビッチが新しい BMW AG 取締役会会長に

オリバー・ツィプセは予定通り 2026 年 5 月の定時株主総会後に取締役会を退任

ニコラス・ペーター: 「ネデリコビッチは戦略的先見性、強力な実行力、起業家精神で説得力がある」

オリバー・ツィプセへの謝意: 「BMW グループへの多大な貢献」

ミュンヘン

工学博士ミラン・ネデリコビッチが、2026 年 5 月 14 日付で BMW AG 取締役会会長に就任する。同社監査役会は本日、この決定を行なった。「ノイエ・クラッセ」の成功裏な立ち上げを経て、ネデリコビッチはオリバー・ツィプセの後任として BMW AG 取締役会会長に就任する。ツィプセは 10 年以上にわたり BMW AG 取締役会メンバーを務め、2019 年 8 月からは会長職を担ってきた。監査役会は、BMW グループへの卓越した貢献に対し、オリバー・ツィプセに心からの謝意を表明した。

「ミラン・ネデリコビッチは、戦略的先見性、強力な実行力、起業家精神に裏打ちされた思考で人々を納得させます。財務的であれ環境的であれ、資源管理を重視しています。ミラン・ネデリコビッチはアイデアで人々を鼓舞し、共通の価値観のもとに結束させ、それによって最高のパフォーマンスを実現するよう動機づけます。これは変革の時代に BMW グループの成功の軌道を維持するために不可欠なリーダーシップの資質です。」と、BMW AG 監査役会会長ニコラス・ピーターは述べている。

2023 年に、オリバー・ツィプセの BMW AG 取締役会会長としての契約は、通常の定年を超えて 2026 年まで延長されていた。その後、予定通り 2026 年 5 月 13 日の定時株主総会後に取締役会を退任し、BMW グループでの通算 35 年間のキャリアに幕を閉じる。

「オリバー・ツィプセは BMW グループに多大な貢献を果たし、心からの感謝に値する人物です。COVID-19 パンデミックといった世界的危機においても BMW グループをリードし、当社史上最大の戦略プロジェクトである『ノイエ・クラッセ』をリードしました。オリバー・ツィプセは常に BMW グループの成功を最優先してきました。外部からの大きな逆風の中でも一貫して明確な姿勢を示し、激動の時代においても会社を正しい軌道に乗せ続けてきました。」と、ニコラス・ピーターは述べている。

取締役会会長に指名されたミラン・ネデリコビッチは、2019 年より BMW AG 取締役会メンバーを務め、現在は生産部門を担当している。56 歳の彼は、1993 年に BMW で研修生としてキャリアをスタートさせ、幅広い国際的な経験を積んできている。オックスフォード工場、ライプツィヒ工場およびミュンヘン工場のマネージング・ディレクター、コーポレート品質管理本部長など、上級管理職を歴任してきている。取締役会会長としての契約は 2031 年までを予定している。

「ミラン・ネデリコビッチは、BMW グループの従業員から高い評価と信頼を得ています。ネデリコビッチと共に、BMW グループの成功の礎である従業員代表委員会と経営陣の協力的な連携という長い伝統を、今後も

継続できることを楽しみにしています。」と、グローバル従業員代表委員会委員長であり、監査役会副会長であるマーティン・キミッヒは述べている。

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>